

# “是……的”構文について

謝 平

## 摘要

本文在前人研究的基础上,从“是……的”句式的使用前提条件即“共知信息”的角度进行分析,探讨“是……的”句的各类用法及语义特征。并就“的”在文中所处位置将“是……的”句式分为A型句(不含宾语的为Ai型,含宾语的为Aii型)和B型句,从“具体性”、“粘着性”、“语脉”等角度对B型句的成立条件做分析考察。考察发现,句中所表达的已成事例具备“具体性”特征、或动词与宾语之间具有“粘着性”特征、或是状语部分语义指向“动词+宾语”时,可以使用B型句。另外值得注意的是,有些语境只能使用Ai型,也有些语境只能使用B型句。

关键词: 共知信息 高阶范畴信息 具体性 粘着性 语脉

## 0. はじめに

“是……的”構文<sup>1)</sup>の意味機能について,研究者によって見解はさまざまである。例えば,朱德熙(1978)は,“判断句”(判断文)であるとしているが,沈家煊(2008)は,“他是去年生的孩子”のような構文は“我是日本太太”と同じように“主观认同的移情义”(同定的感情移入義)を表すと指摘している。また,杉村博文(1982, 1983, 1995, 1999)をはじめ,小寺春水(1994),刘月华等(2001),木村英树(2003),熊仲儒(2007)などは,「已然の事柄」,「定・不定」,「經常的・非經常的」,「確認済み」,「焦点」などのキーワードを提示して“是……的”構文の本質を突き止めようとしている。

しかし,“是……的”構文の“的”を目的語の前に置くか後ろに置くかは依然として学習者を惑わす問題として残っている。先行研究では,目的語の前になると明確に示すとするものもあれば(吕叔湘1999),目的語の前でも後ろでもよいと説明するものもある(刘月华2001,石慧敏・谢福2008)。両者のニュアンスの違いについても研究者によって意見が異なる。例えば,金萍(2016, p.41)は,「“是VO的”文の叙述の焦点は出来事を表す述部全般であり,“是V的O”文の叙述の焦点は動作行為である」と述べている。郭春貴(2017, p.144-145)は,「動作にかかわる時間,方法などを不思議に思う時」,「動作にかかわる時間,方法などに不満がある時」,“的”は目的語の前に置くと指摘している。しかし,例(1b),(2b)のように,“的”が目的語の後になると不自然なケースもある。

- (1) a. 你是在哪儿买的衣服?<sup>2)</sup>  
b. <sup>??</sup>你是在哪儿买衣服的?

- (2) a. 你的英语真好！你是在哪儿学的英语？  
b. “你的英语真好！你是在哪儿学英语的？”

例 (1b), (2b) のような文が成立しない理由について、杉村博文 (1983, p.478) では、「経常的事態」と「非経常的事態」の視点から「一回的非経常的に把握される行為か否かというような特徴がそこに介在する可能性は小さくない」と述べている。また、小寺春水 (1994, p.34) は「定」と「不定」の視点から目的語を分析し、「“是……的”構文の目的語が不定名詞であれば、Aタイプ<sup>3)</sup>が選択される」と指摘している。とはいえ、上記の例 (1) と (2) の疑問の部分で“怎么”<sup>4)</sup>、“通过什么方法”、“为什么”などにした場合は、Bタイプの許容度も高くなる。

- (3) a. 你通过什么方法买的衣服？  
b. 你通过什么方法买衣服的？  
(4) a. 你为什么学的英语？  
b. 你为什么学英语的？

本稿は、上記の問題を踏まえ、使用条件の「共通認識」に関わる要素から“是……的”構文を分類し、その本質を探ってみる<sup>5)</sup>。また、「具体性」、「密着性」と「文脈」の視点から“的”の位置について分析する。

## 1. 使用条件

### 1.1 使用場面

ほとんどの教科書では、“是……的”構文は、すでに行われた事について、いつ・どこで・どのようになどを強調する構文であると説明されている。このような説明は、強調か否かが“是……的”構文と“V了”の区別であると誤解を招きかねない。例えば、次の例 (5) は実際に学生が作った会話文で、“是……的”構文を使わなければならないところの (A2), (B2) は“了”になっている。

- (5) A1: 暑假你去旅游了吗？  
B1: 去中国旅游了。  
A2: # 一个人去了吗？⇒ (是) 一个人去的吗？  
B2: # 不，跟朋友一起去了。⇒ 不，(是) 跟朋友一起去的。  
A3: 你们都去了哪儿啊？  
B3: 北京和上海。

完了を表す“了”は、実現済みの事柄を新情報として初めて相手に述べようとするニュアンスがあり<sup>6)</sup>、“今年暑假我一个人去了中国。(今年の夏休み、私は一人で中国に行きました。)”のように、叙述文に用いるのが一般的である。“你一个人去了中国吗？(あなたは一人で中国に行ったので

“是……的”構文について（謝）

すか?)”のような“了”を用いて状語（連用修飾語）を焦点にする是非疑問文は、実現済みの事柄に対してなお疑問があるという意味を表すため、詰問の口調を帯びた表現となってしまう。それに対し、“是……的”構文は、実現済みの事柄について話し手と聞き手に一定の共通認識があるという前提があって、この事柄が話題になっている場面（situation）に用いられる。例（5）のA1とB1は、両者を実現済みの事柄に対する共通の認識を持っていない時の発話であるため、“是……的”構文を用いることができない。B1によって、AさんとBさんは、はじめて「Bさんが夏休みに中国に旅行に行った」という情報を共有した。この前提を受けて、中国旅行の行き方など動作についてさらに詳しく情報を聞こうとするA2は、詰問のニュアンスを帯びた“了”より“是……的”構文を用いたほうが自然である。また、A3はBさんの行った場所についての問いであり、行き先についての話題はAさんにとってはじめて導入することであるため、例（5）のように完了の“了”が用いられている。もちろん、中国旅行という大前提があって、中国の「どこ」を取り立てて聞こうとする場合は、次の（6）のようにA3も“是……的”構文を用いることが可能である。

- (6) A1：暑假你去旅游了吗？  
B1：去中国旅游了。  
A2：一个人去的吗？  
B2：不，跟朋友一起去的的。  
A3：你们都去的哪儿啊？⇒你们都去了哪儿啊？  
B3：北京和上海。

また、次の例（7）のように、B2で行き先の話題に触れたため（波線の部分）、A3は“是……的”構文を用いることもできる。

- (7) A1：暑假你去旅游了吗？  
B1：去中国了。  
A2：一个人去的吗？  
B2：不，跟朋友一起去的的。这次我们去了两个地方。  
A3：哦，你们这次去的哪两个地方啊？⇒哦，你们这次去了哪两个地方啊？  
B3：北京和上海。

例（6）、（7）のA3は“是……的”構文を用いているが、どちらも疑問詞疑問文であり、詰問のニュアンスがないため、完了を表す“了”に置き換えることができる。

“是……的”構文は、上記の例（5）～（7）のような場面以外、次の例（8）、（9）のように、目の前にあるものについて詳しい情報を尋ねるときにも用いられる。

- (8) 我大叫，像孩子似的跳了起来：“虎头风筝！你是在哪儿买的？”（琼瑶《幸运草》/ BCC）

- (9) 末了，老师回眸慈祥而又期待地望着我。我连忙也掏出个信封，笑着说：“南门商学院。”  
老师愕然：“几时创办的？”（《高考发榜的日子里》/BCC）
- (10) 她脸红恐怕是海风吹的。（刘月华 2001, p.767）

例(8)は、目の前にあった風について買った場所を問いただし、例(9)は、話題の進学先（入学通知の入った封筒）について話している場面である。また、例(10)は彼女の顔が赤くなった原因を語っている。いずれも話し手が実際に見た、あるいは感じたもの、痕跡の出来た時間、方式、由来などについての内容である。話題になっているものや痕跡は、動作の結果あるいは対象でもあるが、前文に提示され、あるいは文頭に置かれる傾向があり、普通は“的”の後に置かない。

## 1.2 共通認識となる基本情報

杉村博文（1982, p.170）では、「状況解說的“是S的<sub>2</sub>”」について次のように述べている。

さて「是S的<sub>2</sub>」のこのような特徴は何を物語るのであろうか。それは「是S的<sub>2</sub>」が、ある事態の発生・実現を確認済みとして、その事態に関与したいわば「5W1H」を補足説明するものであるということだ。

杉村博文（1982）の指摘する「確認済みのある事態の発生・実現」は、コミュニケーションする双方の「共通認識」である。また、刘月华等（2001, p.763）では、“共知信息”（「共通認識」）に言及し<sup>7)</sup>、“是……的”構文の使用条件と意味機能を次のように指摘している。

使用“是……的”句（一）时，说话人要突出表达的重点（也就是全句的表达焦点）并不是动作本身，而是与动作有关的某一方面，如时间，处所，方式，施事，受事等。“是……的”格式是这种动词谓语句的标志，标志词“是”的作用是指明它后面的成分是全句的表达焦点，标志词“的”功能是表明谓语句所表示的动作已在过去发生或完成。

[話し手が、“是……的”構文（一）を用いて述べようとする重点は動作自体ではなく、動作の時間、場所、方法、受け手、仕手など、動作に関係する側面である。“是……的”構造は、このような動詞述語文のマーカである。マーカ“是”の働きは、その直後の成分が表現の焦点であることを表し、“的”の働きは、述語である動詞の表した動作が既に実現したあるいは完了したことを表す。]

さらに、刘月华等（2001）は“对比焦点”（「对比の焦点」）を五つに分けて“是……的”構文の使用例を全面的に分類しようとした<sup>8)</sup>。しかし、分類の基準は不明確であるため、外国人学習者にとってはわかりにくい。本稿では、“是……的”構文を用いる前提としての「共通認識」(common understanding) から掘り下げて考察を試みる。

刘月华等（2001）でも指摘しているように、“是……的”構文は、実現済みの個別の事柄について話し手と聞き手が一定の共通認識を有している場合に用いられる。本稿は、実現済みの事

柄を表す文に参画する要素「仕手」、「動作」、「受け手」について、それぞれの上位カテゴリー的な情報（higher-level conceptual information）を、話し手と聞き手の双方が共有しさえすれば、“是……的”構文を用いることができると考える。例えば、「今年も例年のように社員の一人が中国へ出張に行っている」という共通認識の情報は、「仕手」の「会社員」は特定の人物ではなく、「動作」の「行く」も行き方などを表す連用修飾語がない。さらに、「受け手」の「中国」も国名だけで、具体的な場所が示されていない。いずれもが上位カテゴリー的な情報であるに過ぎないといえよう。聞き手と話し手には、このような共通認識があれば、次の例（11）のように“是……的”構文を使うことが可能になる。

(11) A1：这次是谁去的中国？

B1：是田中太郎。

A2：他哪天走的呀？

B2：昨天。

A3：他去的哪个城市啊？

B3：上海。

例（11A1）の質問から、この会社は会社員を中国に派遣することは初めてではなく、今回も中国に出張した会社員がいるという背景が伺える。この発話の背景が、AさんとBさんの持つ共通認識である。また、この共通認識である実現済みの事柄の「仕手」、「動作」、「受け手」についての情報が詳しくないため、さらに下位カテゴリー的（lower-level conceptual）<sup>9)</sup>で、具体的な情報を求めることが可能となる。

実現済みの事柄についての共通認識に関わる要素「仕手」、「動作」、「受け手」のうち、一つ以上の要素が上位カテゴリー的な情報であれば、“是……的”構文を用いることができる。例えば、次の例（12）では、“是谁发出的命令？是从哪里发出的？”のような“是……的”構文が用いることができるのは、語り手の作者がまず精絶国王宛ての木簡が発見された（波線部分）ことを述べたため、語り手と聞き手即ち作者と読者の間に共通する認識を持つようになったのである。波線の部分から、「受け手」の“命令”は詳しく示されており、上位カテゴリー的な情報ではないが、「仕手」と「動作」についての情報は詳しくないため、“是……的”構文を用いてさらに具体的な情報を探り求めようとしたのである。

(12) 从已经解读的部分去卢文木牍中发现了这样的词句：“有来自苏比士人之危险，汝不得疏忽，其他边防哨兵应迅速派遣来此。”这些木牍似乎是发给精绝国王的命令。但是谁发出的命令？是从哪里发出的？苏比士人是什么人？这些都是待解之谜。（《尼雅之谜》，《厦门商报》1997-1-18 报刊/BCC）

## 2. 下位カテゴリー的な情報の確認

本稿は、コミュニケーションする双方が一定の共通認識を持つ実現済みの事柄について、さらにその事柄を成す要素の「仕手」、「動作」、「受け手」に関わる下位カテゴリー的な情報を探

り求める、あるいは取り立てて解釈しようとするのが“是……的”構文の重要な機能であると考えられる。以下では、この探り求める、あるいは取り立てて解釈しようとする情報によって、“是……的”構文を「動作関連」、「受け手関連」、「仕手関連」の三つのタイプに分けて詳しく分析する。

## 2.1 動作関連

動作関連の情報を求めるタイプの用例は、最もよく見られる。そのため、中国語の初級教科書や文法書に書かれる用例はほとんどこのタイプである。動作関連についての情報は、主に連用修飾語部分のことで、時間 (ex.“(在) 什么时候”), 場所 (ex.“(在) 什么地方”), 道具 (ex.“用什么”), 方式 (ex.“怎么”), 対象 (ex.“和谁”, “对谁”), 目的 (ex.“为什么”) などを表すものである。また、これらの情報は、動作から切り離すことができず、動作を具体化、細分化するものであるといえよう。例えば、次の例 (13) の“是……的”構文が用いられている部分は、“刘清和宋洁夫妇”(仕手) が“交通银行北京分行西单支行营业部的门口”(受け手) に来ている(動作) という背景に対して、さらに来た時間を説明する内容である。例 (14) の“是……的”構文が用いられている部分も、北京の体育館の観覧席に座っている老人がいるという前提があるからこそ、記者がインタビューした情報、即ち老人がどこから、何の目的で来たかについての下位カテゴリー的な説明ができたのである。

- (13) 今天早上7点45分，离华安创新开放式基金发放预约号的时间还有一个多小时，就已经有160多位群众静静地站在交通银行北京分行西单支行营业部的门口。

排在第一位的是住在北京东城区的刘清和宋洁夫妇，他们住在北京东城区，是昨天晚上9点半来的。(新华社2001年9月份新闻报道 /CCL)

- (14) 可是记者在报名点看到，来这里的老人也很多。这实际上是年轻人的事。由于本次公开招考将考生的年龄限制在35岁以下。在体育馆的看台上坐着一位老人，记者上前攀谈得知，他是从武汉来北京看女儿的，已经住了一个月了，本打算这几天就回去。(1994年报刊精选 /CCL)

“是……的”構文を用いて確認・説明する動詞関連の情報は、連用修飾語の部分が多い。動詞に補語(結果補語、様態補語など)がある場合でも、次の例(15)～(18)のように、動詞に付加するかたちで、動詞と一体化する。

- (15) 我写《新生》，一共写了两遍。第一稿是在一九三一年八月写完的。(巴金《巴金自传》/BCC)

- (16) 如何认识社会主义制度下的商品和市场问题，应该说我们党是经历了很长一段时间艰难曲折的探索，才逐步弄清楚的。(1995年人民日报8月份 /CCL)

- (17) 人们把这个从前瞎眼的人带到法利赛人那里，法利赛人去问他的眼睛是怎么看得见的。(翻译作品《圣经故事》/CCL)

- (18) 我是怎么在凳子上坐了一天的? 怎么又饿了? 不刚吃的吗? (微博 /BCC)

上記の例（15）～（18）は、いずれ動詞の後に補語が付いているが、取り立てようとするところは状語（連用修飾語）の部分である。これらの情報は、「動作」の完了を前提としており、“是……的”を“了”に置き換えると、完了という前提を無視するニュアンスになってしまうため、かえって唐突な表現となる。

また、補語のうち、例（18）に示すように数量補語だけは動詞との間に“了”、“过”などを入れることができる。動詞との関係は緊密ではないので、次の例（19）、（20）のように、一定の共通認識を持てば、“是……的”構文を用いて、数量補語<sup>10</sup>の部分の情報を求めたり、取り立てて説明したりすることが可能である。

(19) A: 上个月我去日本了, 觉得日本挺好的。

B: 你是去玩的几天啊?

(20) A: 如何评价电影《钢琴家》?

……

B: 我是冲着奥斯卡最佳导演奖影片反复看的几遍。谈谈我看到的《钢琴家》吧。……

（知乎）

数量補語あるいはそれに対する質問は、動詞の後に置かれているため、動作が完了していることは語順によって示され、状語の場合と異なり、完了の“了”を使っても唐突感はなく、“是……的”構文はより叙述的な表現になる。したがって、上記の例（19）、（20）で“是……的”構文が用いられているところは、次の例（19'）、（20'）に示すように完了を表す“了”に置き換えることができる。

(19') A: 上个月我去日本了, 觉得挺好的。

B: 你去日本玩了几天啊?

(20') A: 如何评价电影《钢琴家》?

……

B: 我冲着（《钢琴家》是）奥斯卡最佳导演奖影片反复看了几遍。

## 2.2 受け手関連

“是……的”構文を用いて、受け手関連の情報について探り求めるあるいは取立てて説明する場合は、次の例のように、具体的で、定的な情報が求められる。

(21) “不懂就是不懂！那人——那个人是谁呀？你倒说给我听听。”“就是，就是那个姓，姓郑的！”“姓郑的？这世上姓郑的多着呢！平日我倒是认识几个，不过你是说的谁呢？”柳如是干脆来个压根儿不认账，这显然同样出乎钱孙爱的意料。（刘斯奋《白门柳》/ BCC）

例（21）は、“钱孙爱”が“柳如是”に鄭という苗字の人のことを話した後、“柳如是”は知らな

いふりをして“钱孙爱”にどの鄭さんなのかを尋ねる疑問文である。求めている情報の“谁”は、「人」の下位カテゴリー的な概念であるといえる。また、次の例(21)の“哪个郑先生”のように修飾構造を用いて下位カテゴリー的な概念を表すフレーズにしても成立する。

(21) 姓郑的？这世上姓郑的多着呢！平日我倒是认识几个，不过你是说的哪个郑先生呢？

疑問詞“哪”を用いた表現(例(21))以外，“什么”(例(22))，“多少”(例(23))，“几”(例(24))を用いた修飾構造や、「疑問詞+の+名詞」のような修飾構造(例(25)、(26))もよく見られる。

(22) 但那另一名保镖却是丝毫不理睬，向圣清道：“你到底是学的什么功夫？”(小浅笔《灵异侦探组》/BCC)

(23) “塞内加将军，十分感谢你们的支持，不知道你们这一次一共来的多少人？”我看了看这位将军的身后。塞内加笑道：“柯里昂将军，总统告诉我们是3000，但是我们必须留下一部分住房，所以只带过来2000。”(张云《导演万岁》/BCC)

(24) 你好，请问你们从机场过来是坐的几路车呀？(蚂蜂窝)

(25) 你买的几号的机票？(豆瓣)

(26) 你们是看的哪里的房子？三万都买不上，那我岂不是没希望。(房天下)

例(22)～(26)の“什么功夫”，“多少人”，“几路车”，“几号的机票”，“哪里的房子”の上位カテゴリー的な概念は、それぞれの中心語の“功夫”，“人”，“车”，“机票”，“房子”である。

### 2.3 仕手関連

朱德熙(1982, p.96)では、中国語の主語と目的語について次のように指摘している。

汉语有一种很强的倾向，即让主语表示已知的确定的事物，而让宾语去表示不确定的事物。  
[中国語には一つの強い傾向が見られる。即ち、主語は既知で確定のものを表し、目的語は不確定のものを表す。]

主語になる傾向が強い「仕手」は、“是……的”構文においても次の例(27)のように定的なものが多く見られる。

(27) 韦杰三君是一个可爱的人；我第一回见他面时就这样想。这一天我正坐在房里，忽然有敲门的声音；进来的是一位温雅的少年。我问他“贵姓”的时候，他将他的姓名写在纸上给我看；说是苏甲荣先生介绍他来的。(朱自清《哀韦杰三君》/《解读朱自清经典——荷塘边的不朽背影》，p.60)

“是……的”構文を用いて仕手についての情報を求めようとする場合も，“谁”，“哪+数量詞+

“是……的”構文について（謝）

名詞”などのような、特定で具体的なヒト・モノを要求する疑問詞が用いられる。

- (28) 车老板赶紧把车停住：“这是谁干的好事？放树有这么放的吗？这车和行人哪过得去呀？”  
（单田芳《白眉大侠》/BCC）
- (29) 你说你是从哪儿听来的？是哪个人说的？（于晴《红苹果之恋》/BCC）

また、仕手の情報を求める“是……的”構文は、動作あるいは受け手関連情報を求める場合、Aタイプであれば成立するというわけではない。例えば、次の例(30)～(32)のような文は成立するが、例(33)、(34)のような文は文脈がなければ成立しない。

- (30) 事前老爹一点也不知道，当电视机送来的时候，他还大声问：“送货来了，谁买的电视机？”  
（岑凯伦《幸运儿》/BCC）
- (31) 我吸了一口气，问黄而：“那些人是怎么送回去的？”（倪匡《卖命》/BCC）
- (32) 都是寂寞惹的祸（曲名）
- (33) \*是谁来的德国？
- (34) \*是谁学的英语？

例(30)は買ったテレビが目の前にあって、そのテレビが動作の結果として存在するという前提がある。例(31)も“那些人”を目撃した、あるいは話題にしていることが前提になる。例(32)は抽象的な表現ではあるが、例(30)と同じパターンで、実感している「災い」を話題として語っている。つまり、仕手の情報を求める“是……的”構文は、目的語である受け手が動作を働きかけられた結果として、存在する、あるいは連想できる痕跡・実物がある場合に用いられる傾向があるといえる。例(27)～(29)が成立する理由も同じである。また、例(33)、(34)の目的語“德国”（国名）と“英语”（言語の一つ）は、定名詞であっても、成立しないのは、受け手の“德国”と“英语”は、移動や変化の結果として考えにくく、“是……的”構文の使用前提となる共通認識を連想しにくいためである。次の例(33'a)、(34'a)のように目的語を働きかけられる対象にする場合、あるいは例(33'b)、(34'b)のように仕手についての範囲が示される場合は、“是……的”構文の使用前提となる共通認識を連想できるため、成立が可能となる。

- (33') a. 是美苏英法意联手打败的德国？（悟空问答）  
b. 这次你们公司是哪些主管来的德国？
- (34') a. 谁教你的英语？（豆瓣）  
b. 他们兄弟俩，是哪一个学的英语？

### 3. “的”の位置について

#### 3.1 問題点

小寺（1994）は、「個別動作」と「経常動作」の視点から，“是……的”構文は個別動作の場合に用いられると指摘し、動詞と目的語を中心に分析し、次のような結論を出した。

形式的にAタイプ（V的O）は常に個別的動作を表すのに対し、Bタイプ（VO的）は動作の個別性という点において中立的で、文成分の意味的性質によって個別動作か経常動作かが決定される。（小寺1994, p.30）

“抓・卖”のように動作の過程を問題とした動詞はAタイプでのみ、動詞+結果補語や“认识・来”などの動作の結果を含意した動詞はAタイプと共にBタイプでも個別義を表すことができる。（小寺1994, p.33）

“是～的”構文の目的語が不定名詞であれば、Aタイプが選択され、定名詞句であれば、A・B両タイプの選択が可能である。（小寺1994, p.34）

確かに，“是……的”構文の用法は以上の指摘のような傾向が見られる。しかし、これらの結論で説明できないケースも少なくはない。例えば、例（14）のような文脈では、個別動作を表しているにもかかわらずBタイプで表現され、Aタイプにすると逆に不自然な表現となる。

- (14) 可是记者在报名点看到，来这里的老人也很多。这实际上是年轻人的事。由于本次公开招考将考生的年龄限制在35岁以下。在体育馆的看台上坐着一位老人，记者上前攀谈得知，他是从武汉来北京看女儿的，已经住了一个月了，本打算这几天就回去。（1994年报刊精选/CCL）⇒“他是从武汉来北京看的女儿”（再掲）

次の例（35）は、「去年」という時間詞があるものの、「哲学を学んだ」という実現済みの事柄は個別動作なのか、経常動作なのかを言いにくい。また、例（36）の二つの原文では、Aタイプで個別動作（例36a）、Bタイプで経常動作（例36b）を確かに表しているが、それぞれBタイプとAタイプに置き換えることができる。

- (35) a. 他是去年在北大学的哲学。（金萍2016, p.42）  
b. 他是去年在北大学哲学的。（同上）
- (36) a. 我乏了，妈妈抱起我来。怎样进的城，我就知道了，只记得迷迷糊糊的天上有个月牙儿。（老舍《月牙儿》/《解读老舍经典——茶馆的人性变奏》，p.63）  
⇒进城的
- b. 但是，迄今为止，农民大部分是作为劳动力进城的，而晋城的农民已经跨越了这一阶段，农村里多种生产要素开始向城市渗透。（1994年人民日报，第3季度/CCL）  
⇒进的城

さらに、次の例（37b）の述語の“抓”は、「動作の過程を問題とした動詞」であるものの、Bタイプで個別義を表すことが可能であり、同じく「動作の過程を問題とした動詞」である“卖”も例（38a）のようにAタイプでも個別義を表わさない場合がある。

- (37) a. 你们都怎么抓的小偷？  
b. 刚才你们是在哪儿抓小偷的？  
(38) a. 你是通过什么方法卖的日货？  
b. 你是通过什么方法卖日货的？

その他、次の例（39）の“喝酒”のように、AタイプでもBタイプでも個別義を表すことが可能なケースもみられる。

- (39) a. 当时谁跟你们一起喝的酒？（潮吧《绝不饶恕》/BCC）  
b. “别忘了查一查沈光濯是跟谁一起喝酒的。”蒋俊提醒道。（冬虫《绝对红人》/ 笔趣阁）

それでは、“的”の位置は、“是……的”構文の用法とどのような関わりがあるのであろうか。次の3.2では“是……的”構文を“的”の位置により再分類し、ニュアンスの違いと具体的な用法を分析する。

### 3.2 AタイプとBタイプ

ほとんどの先行研究は、“的”と目的語の位置関係によって、“（是）V的O”と“（是）VO的”の二つのタイプに分ける。しかし、目的語が示されない“是……的”構文もある。また、2.1で説明したように、「動作関連」情報の用例には、“是玩的几天？”のように“的”が数量補語の前に置かれる例もあれば、“你是跟谁一起玩了一个星期的？”のように数量補語の後に置かれる例もある。本稿は、“的”の位置を「動詞（+数量補語以外の補語）」の直後に置くタイプ（Aタイプ）とそれ以外のタイプ（Bタイプ）に大きく二分する。また、Aタイプを「V的」パターン（ex. 例（40a）,（40b）, 以下はAiタイプと記す）と「V的～」パターン（ex. 例（40c）,（40d）,（40e）,（40f）, 以下はAiiタイプと記す）に下位分類する。

- (40) a. “别走！”王三胜擦着汗：“你不离，姓王的服了！可有一样，你敢会会沙老师？”“就是为会他才来的！”老头子的干巴脸上皱起点来，似乎是笑呢。（老舍《断魂枪》/《解读老舍经典——茶馆的人性变奏》，p.103）⇒来这儿的  
b. 我们老家那些地都在山上。下乡时我带了几双布鞋，全是送粪时穿坏的。（王小波《沉默的大多数》/BCC）⇒\*穿坏布鞋的  
c. 但在吃食店里，她似乎相信我了，一边倒茶，一边乏味地告诉我，他还是一个钟头以前起的床，此刻还没有吃过早饭。（高尔基《在人间》/BCC）⇒起床的  
d. 楼主这是去的多长时间呢？（蚂蜂窝）⇒\*去多长时间的  
e. 请问大家都买的哪种医疗保险？（小木虫）⇒\*买哪种医疗保险的

- f. 尊师，到底是谁干的好事？（翻译作品，《亚尔斯兰战记》/CCL）⇒\*干好事的

上記の例（40）に示す各例はAタイプである。例（40a）～（40d）は四例とも「動作関連」のパターンであるが、例（40a）～（40c）は状語の部分を取り立てており、例（40d）は、数量補語の部分を取り立てている。また、例（40e）は「受け手関連」のパターンであり、例（40f）は「仕手関連」のパターンである。

次の例（41）の各例はBタイプである。「仕手関連」のパターンの例（41f）以外は「動作関連」のパターンである。

- (41) a. 哎呀呀，你竟怀疑起我来了？我是为了协助警察才来这儿的。（森村诚一《人性的证明》/BCC）⇒来的这儿
- b. 除了第一个外，我发现，这几个“荤菜”都搬上了此后的长篇小说《怀念狼》。《怀念狼》也是在保健医疗过程中写完初稿的。（鲁风《废都后院——道不尽的贾平凹》/BCC）  
⇒写完的初稿
- c. 据当时的卫士回忆，他是中午1点钟才起床的。（杜修贤编《红镜头中的毛泽东》/BCC）  
⇒起的床
- d. 但是七月份，他们突然非法隐匿，和一些犹太复国主义难民一起逃亡，几个月后又在马赛露面——拜伦就是在那儿见到他们，和他们一起呆了几个小时的。（赫尔曼沃克《战争与回忆》/BCC）⇒呆的几个小时
- e. 我买了这本书，怀着喜爱的心情把它带回家。晚上，我小心翼翼地裁开书边，就开始阅读。应该说——我是带着地方的态度去读这本书的。（高尔基《一本令人不安的书》/BCC）  
⇒去读的这本书
- f. 是谁制造这东西的？（长弓江鸟《希望星途》/BCC）⇒制造的这东西

例（40）、（41）からわかるように、Bタイプには「受け手関連」のパターンがない。また、Aタイプの一部はBタイプに置き換えることができないが、BタイプのほとんどはAタイプに置き換えることが可能である。つまり、Aタイプの「動作関連情報（状語の部分）」または「仕手関連情報」を探り求める・取り立てる両パターンの一部はBタイプと互換することが可能である。

### 3.3 “的”の位置

#### 3.3.1 「V + O」の具体性

すでに説明したようにAタイプには、AiタイプとAiiタイプがある。次の例（42）、（42'）のように、Aiタイプ（例（42a）、（42'a））とAiiタイプ（例（42b）、（42'b））は互いに置き換えられる場合が多い。

(42) A1：我刚才吃过了。

B1：吃了什么？

A2：饺子。

B2：a. (是) 在哪儿吃的呀？ ⇒ b. (是) 在哪儿吃的饺子呀？

c. <sup>?</sup> (是) 在哪儿吃饺子的呀？

d. 你刚才 (是) 在哪儿吃饺子的呀？

e. (是) 在哪儿吃了饺子的呀？

A3：朋友家。

(42') A1：昨天我吃了一種很好吃的饺子。

B1：a. (是) 在哪儿吃的呀？ ⇒ b. (是) 在哪儿吃的饺子呀？

c. <sup>?</sup> (是) 在哪儿吃饺子的呀？

d. (是) 在哪儿吃(了)好吃饺子的呀？

e. (是) 在哪儿吃(了)那种饺子的呀？

A2：朋友家。

例 (42) の B2 と例 (42') の B1 は、「餃子を食べた」という情報を知った上で、「餃子」を食べた場所についての質問であり、質問の焦点が場所（“在哪儿”）であるため、目的語の「餃子」は付随的なものとなり、言わなくても（Ai タイプ）、あるいは“的”の後に置かれても（Aii タイプ）よいのである。しかし、例 (42c)、(42'e) のように B タイプにすると不自然な表現になってしまう。何故なら「動作関連」、「仕手関連」の“是……的”構文は、主に“是”と“的”の間の内容が取り立てられるからである。つまり、A タイプはさらに動作を行う具体的な状況（状語の部分）や仕手についての情報を探り求めようとするあるいは述べ伝えようとするが、B タイプは具体的・個別的なケースとして実現済みの事柄（「V + O」）を取り上げて確認・説明しようとする。A タイプは、実現済みの事柄を成す必須要素の動詞があれば成立するため、目的語は付随的なものとなる。一方、B タイプは、事柄を表す「V + O」の部分が具体的あるいは個別的でなければいけない傾向が強く、具体性（concrete）が求められる。この具体性を表す方法は、動詞の前に時間詞（ex. 例 (42d)）、動詞の後に“了”（ex. 例 (42e)）、補語<sup>11)</sup>、目的語の前に修飾語を付け加えることなどがある。また、修飾語を加えた目的語は、例 (42'e) の“那种饺子”のような定名詞だけではなく、例 (42'd) の“好吃饺子”や次の例 (43) の“两个坑”のような、共通認識を有する、具体性のある名詞フレーズも成立が可能である。

(43) 惊疑还并不是这件事情的本身, 戈振军当时是在匆忙中掘两个坑的。(梁羽生《武当一剑》/BCC)

### 3.3.2 「V」と「O」の密着性

動詞と目的語の結合力が強い、即ち動詞と目的語に密着性（cohesive）が高い場合は、「V + O」は 3.3.1 で論じた具体性がなくても B タイプを用いて表現することが可能である<sup>12)</sup>。

- (44) a. 林紫纹强忍住自己的好奇心, 打岔问: “你们早晨几点吃的饭?” (紫箫《重生传奇》/BCC)  
 b. “大姐, 你是什么时候吃饭的?” 李奇望着她对面的女人问。(文丽《表姐表妹》/BCC)
- (45) a. 你在什么地方给我打的电话? (张平《十面埋伏》/CCL)  
 b. 老师, 你在什么地方给我打电话的? (叶之火《巅峰小村长》/ 笔趣阁)

例(44)の“吃饭”は、「動詞+目的語」という構造であるが、「食事する」という意味を表し、一語のような振る舞いをし、緊密な関係を持っている。例(45)の“打电话”の“打”は代動詞であり、目的語の“电话”がなければ、実質的な意味を表さない。「電話する」という意味を表すのに“电话”の役割が大きいといえる。このような「動詞+目的語」は、“吃饭”、“打电话”以外、例(39)の“喝酒”や、“吃药, 打球, 打人, 打招呼, 回家”なども挙げられる。また、「動詞+目的語」構造である離合詞(ex. 帮忙, 放假, 结婚, 离婚, 留学, 起床, 上学, 放学, 上班, 下班, 上课, 下课, 睡觉, 洗澡など)の多くは、Aタイプを用いることもできれば、Bタイプを用いることもできる。

### 3.3.3 文脈

前で分析したように、“是……的”構文は実現済みの事柄について一定の共通認識があった上で、さらに詳しい情報を確認・説明しようとする場合に用いられるため、文脈(context)に強く依存すると考えられる。AタイプとBタイプのいずれでも使えるケースもあるが、文脈によってAiタイプをAii, Bタイプに置き換えることが出来ない場合がある。ともに動詞“来”が用いられる例(40a)と例(41a)は、それぞれAiタイプとBタイプで表現されているが、どちらもAi, Aii, Bタイプの三パターンを用いることができる。しかし、同じ「ここに来た」という共通認識を持っていても、文脈によってAiタイプをAii, Bタイプに置き換えることが出来ない場合もある。例えば、相手が必ず来ることを事前に知っており、会ったときに相手の到着時間を聞こうとする場合、「いつここにきましたか?」(你什么时候来这儿的? / 你什么时候来的这儿?)より、「いつ来ましたか?」(你什么时候来的?)のほうが自然であろう。また、上記の例(40b)のように、話題になっているあるいは目の前にあるものが、受け手でありながら、トピックとして主語になっている場合は、AiiタイプとBタイプにすると重複することになり、かえって不自然な表現となる。もちろん、状況によって、Bタイプを用いたほうが自然な場合もある。例えば、3.1でも挙げた例(14)は、“是……的”構文で、北京に来たのは「娘に会う」という目的であることを述べている。目的語の“女儿”は北京に来る目的を表すキーワードであり、Bタイプのほうが適切である。

また、冒頭で挙げた例(3b), (4b)や次の例(46)のような文にも見られるように、3.3.1と3.3.2で説明した「具体性」と「密着性」を持たなくとも、事柄全体を取り上げ、Bタイプで表現してもよい場合がある。

- (46) a. ??你(是)什么时候买票的? ⇒你(是)什么时候买的票?

- b. “你（是）在哪里买票的？” ⇒ 你（是）在哪里买的票？
- c. “你（是）跟谁一起买票的？” ⇒ 你（是）跟谁一起买的票？
- d. 你（是）怎么买票的？用现金买的吗？ ⇒ 你（是）怎么买的票？用现金买的吗？
- e. 你（是）为什么买票的？ ⇒ 你（是）为什么买的票？

例 (46) の五つの文の発話背景は、いずれも相手が切符を買ったという認識を持っていることである。話題の“票”は質問の前提でもあるため、わざわざ繰り返す必要がなく、Ai タイプあるいは Aii タイプのほうが適切である。特に (a) ~ (c) は買う行為に関わるものであり、“的”を目的語の後に置く B タイプにすると不自然な表現となる。しかし、「切符の買い求め方」についての (d) と「切符を買う目的」についての (e) は、買う動作「V」だけではなく、動作の対象「O」にも関係するため、B タイプにしても許容される。つまり、状語の部分が「V + O」に関わる場合は、B タイプにしても成立可能である。そのため、(a) ~ (c) の「V」の部分を実例 (46') のように、行動の目的を表す連動構造の「去 / 来 + (~) + V + O」にすれば、成立が可能となる。

- (46') a. 你（是）什么时候去买票的？ ⇒ 你（是）什么时候去的票？
- b. 你（是）去哪里买票的？ ⇒ 你（是）去哪里买的票？
- c. 你（是）跟谁一起去买票的？ ⇒ 你（是）跟谁一起去买的票？

#### 4. 終わりに

実現済みの事柄を成す必須要素は、「仕手」、「動作」、「受け手」である。この三つの要素についてコミュニケーションする双方にそれぞれの上位カテゴリー的な情報を共有しさえすれば、“是……的”構文を用いることが可能である。“是……的”構文の機能は、「仕手」、「動作」、「受け手」に関わる下位カテゴリー的な情報を採り求める、あるいは取り立てて解釈しようとすることである。求めるあるいは解釈する内容によって、“是……的”構文を「動作関連」、「仕手関連」、「受け手関連」の三タイプに分類することができる。

また、“的”の位置によって、“是……的”構文を A タイプ (Ai タイプ (“V 的”), Aii タイプ (“VO 的”)) と B タイプ (“VO 的”) に分けることができる。「受け手関連」情報についての“是……的”構文は、B タイプを用いて表現することができない。一方、「動作関連」、「仕手関連」情報についての“是……的”構文は、「受け手」も共有する情報の一部であるため、繰り返す必要はなく、A タイプで表現することが多い。しかし、時間詞を加えて個別的な事柄にする場合や、文中の動詞あるいは目的語が具体性を持つ場合は、「受け手」も具体的な事柄の構成部分であるため、B タイプにすることも可能である。また、「V」と「O」とは、多くの離合詞のように緊密な関係を持ち、密着性が高い場合は、B タイプを用いることが可能である。

共通認識という前提が必要とする“是……的”構文は、文脈に強く依存するといえる。文脈によって、目的語の部分が確認・説明のポイントであり、B タイプにしたほうが自然であるケースもある。また、文中に時間詞のような状況説明もなく、動詞あるいは目的語に「具体性」も

なく、動詞と目的語に「密着性」もないものの、理由や方式などを表す状語が「V + O」にかかる場合は、Bタイプにすることも可能な場合がある。

注：

- 1) 本稿は“是……的”構文の中の断定的に話し手の見解などを表すものを対象外とする。
- 2) 出典のない用例は作例である。
- 3) 小寺春水(1994)は、“V的O”をAタイプとし、“VO的”をBタイプとしている。これと違って、本稿は“V的(～)”をAタイプに、そのほかのものをBタイプにする(3.2を参照)。
- 4) 你是怎么开的车啊?难道你开车不长眼睛吗?(第一文库网)“你是怎么穿鞋子的,一两个月穿烂一双。”(简书)のように、動詞に結果補語がついておらず、疑問詞を“怎么”にした場合は、文脈によって、詰問を意味するケースがある。
- 5) 本稿は、“是……的”構文の“是”の有無については取り扱わないことにする。
- 6) 杉村博文(1995, 2017)では、“A是V的P”という構文について、“先le后de”という視点から次のような結論を出している。

从形式上看,“(A是)V的P”是一个承接已然事件的句法形式;从语义上看,在一般情况下,见于“先le”中的受事论元P的次范畴成为信息焦点,起到从受事论元的角度对“先le”加以区分的作用。(杉村博文2017, p.230)

“(A是)V的P”は、形式上においては、已然の事柄を受けて使用する文法形式である。意味上においては、一般的に“先le”という事柄の受け手Pの下位範疇が情報の焦点になったことを表し、受け手という項から“(A是)VのP”と“先le”を区別する働きがある。]

本稿も“是……的”構文は主に実現済みの事柄についてさらに詳しい情報を求めるあるいは提供する場合に用いられると考える。しかし、例(6)、(7)の(A3)のように已然の事柄について確認済みの場合でも“le”(了)と“de”(的)のどちらも使用可能なケースがあるため、“先le后de”という表現はすべてのケースを説明できるというわけではないと思われる。

- 7) 「共通認識」について、刘月华等(2001, p.762-763)では次のように指摘している。

“是……的”句(一)一般用于这种情况:动作已在过去发生或完成,并且这一事实已成为交际双方的共知信息(已知信息)。

“是……的”構文は次のような場合に用いられることが一般的である。即ち、動作が過去において既に実現あるいは完了していることを表し、且つこの事実は会話する両方において共通の情報(既知の情報)となっている場合である。]

- 8) 刘月华等(2001)では、「対比の焦点」を次の五つに分類している。
  1. 対比焦点是作为状语的时间, 处所, 方式, 条件, 目的, 对象, 工具等 [対比の焦点が状語としての時間, 場所, やり方, 条件, 目的, 対象, 道具などである]
  2. 対比焦点为施事 [対比の焦点が仕手である]
  3. 対比焦点为全句的主语 [対比の焦点が主語である]
  4. 対比焦点为受事 [対比の焦点が受け手である]
  5. 対比焦点为一种行为或情况, 而这一行为或情况是引起某种结果的原因 [対比の焦点がある行為あるいは状況である。この行為あるいは状況は、ある結果を引き起こす原因である]
- 9) 杉村博文(2017, p.230)では、“A是VのP”という構文の意味機能について論じたとき、受け手Pの下位カテゴリー的な情報が焦点になると指摘している(原文は注6参照)。本稿では、“是……的”構文において、焦点になる情報のすべてが「共通認識」となる情報の下位カテゴリーであると考えられる。
- 10) “(那)一本书”のような「(指示名詞) + 数量フレーズ + 名詞」は、数量フレーズは名詞を修飾するため、数量補語ではなく、名詞フレーズの一部であり、「仕手」と「受け手」の関連情報であると考え

## “是……的”構文について（謝）

られる。

- 11) “你什么时候买到票的？”のように、動詞“买”の後に結果補語“到”があり、具体的に実現済みの事柄を表すことができるため、Aタイプだけではなく、Bタイプでも用いられる。
- 12) “做事”、“干活儿”などのような「V + O」構造の語の一部は、「V」と「O」の結合力も強いように見えるが、動詞も目的語も抽象的で実質的な意味を持たないため、Bタイプを用いて表現するには、3.3.1で言う「具体性」が必要となる。

### 参考文献：

(日本語)

- 郭春貴 2017.『誤用から学ぶ中国語—助動詞、介詞、数量詞を中心に』, 白帝社, pp.143-147
- 金萍 2016. “是～的”構文における“VO的”と“V的O”の一考察, 『人間社会環境研究』第31号, 金沢大学大学院人間社会環境研究科
- 栗原千里 (2015). 「是…的」構文の特徴と意味, 『桜文論叢』第89巻, 日本大学法学部
- 小寺春水 1994. “是～的”構文の目的語の位置について, 『人文学報』253, 東京都立大学人文学部
- 小寺春水 1999. “是～的”構文の“是”の意味機能, 『漢学研究』第37号, 日本大学中国文学會編
- 杉村博文 1982. “是……的”——中国語の“……のだ”の文, 『講座日本語学12外国語との対照』, 明治書院
- 杉村博文 1983. ‘的’前移せよ, 『伊地智善継・辻本春彦両教授退官記念 中国語学・文学論集』, 東方書店
- 杉村博文 1995. 中国語における動詞、形容詞の承前形式, 『語学大会研究論集3』, 大東文化大学語学教育研究所
- 董雪嬌 2015. “(是)～的”構文の意味特性と使用条件—動相助詞“了”を伴う構文との比較対象を通して—, 『現代社会文化研究』60, 新潟大学現代社会文化研究科
- 董雪嬌 2016. 原因を表す“是…的”構文の用法, 『現代社会文化研究』63, 新潟大学現代社会文化研究科
- 陸芸娜 2009. 出現物主語の「是…的」構文の叙述の焦点, 『応用言語学研究論集』3号, 金沢大学金沢大学人間社会環境研究科

(中国語)

- 刘月华, 潘文娉, 故韡 2001. 《实用现代汉语语法》(增订本), 商务印书馆, pp.762-771
- 吕叔湘主编 1999. 《现代汉语八百词》(增订本), 商务印书馆, pp.496-502
- 木村英树 2003. “的”字句の句式语义及“的”字的功能扩展, 《中国语文》第4期
- 杉村博文 1999. “的”字结构, 承指与分类, 《汉语现状与历史的研究》江蓝生, 侯精一主编, 中国社会科学出版社, pp.47-66
- 杉村博文 2015. 论两类的“的”字句与其中助词“的”的句法性质, 《世界汉语教学》第1期
- 杉村博文 2017. 《现代汉语语法研究 以日语为参考系》, 大阪大学出版社, pp.200-233
- 沈家煊 2008. “移位”还是“移情”——析“他是去年的孩子”, 《中国语文》第5期
- 石慧敏, 谢福 2008. 外国留学生“是……的”句的偏误分析, 《海外华文教育》第1期
- 熊仲儒 2007. “是……的”的构件分析, 《中国语文》第4期
- 谢福 2010. 基于语料库的留学生“是……的”句习得研究, 《语言教学与研究》第2期
- 朱德熙 1978. “的”字结构和判断句(上), 《中国语文》第1期
- 朱德熙 1978. “的”字结构和判断句(下), 《中国语文》第2期
- 朱德熙 1982. 《语法讲义》, 商务印书馆

### 例文出典：

#### 【コーパス】

BCC 语料库 <http://bcc.blcu.edu.cn/> 北京语言大学

CCL 语料库 [http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl\\_corpus/](http://ccl.pku.edu.cn:8080/ccl_corpus/) 北京大学中国语言学研究中心

**【インターネット検索】**

笔趣阁 <http://biquge.com>

豆瓣 <https://www.douban.com>

第一文库网 <http://ask.wenku1.com>

房天下 <http://www.fang.com>

简书 <https://www.jianshu.com>

蚂蜂窝 <http://mafengwo.cn>

小木虫 <http://mob.muchong.com>

悟空问答 <https://www.wukong.com>

知乎 <https://www.zhihu.com>

**【書籍】**

《解读朱自清经典—荷塘边的不朽背影》，花山文艺出版社，2005年

《解读老舍经典—茶馆的人性变奏》，花山文艺出版社，2005年